

| 科目コード | ナンバリング | 単位数 | 学期 | 授業区分 | 科目区分 | 履修区分 | 配当学年 |
|--------------|-----------------|-----|----|-----------------------------|------|------|------|
| 410035 | X-31-B-1-410035 | 2 | 後期 | 【1年次生】国際学部国際文化学科 | × | × | × |
| | | | | 【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース | × | × | × |
| 授業科目 | 担当教員 | | | 【2年次生以上】国際学部国際文化学科 | × | × | × |
| | | | | 【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース | × | × | × |
| | | | | 【1年次生】経営情報学部経営学科 | 専門 | 必修 | 1年 |
| | | | | 【1年次生】経営情報学部情報システム学科 | 専門 | 必修 | 1年 |
| 基礎ゼミナール 2 J1 | 石川 洋 | | | 【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース | × | × | × |
| | | | | 【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース | × | × | × |

分野

経営情報学部の学生全員が履修

目的と研究対象分野

本演習は、基礎ゼミナール1に引き続き、適正な学習・生活リズムを獲得することを目的とする。

また、ノートの取り方やレポートの書き方などの文書作成スキルの取得を目的とする。

続いて、大学の中での学びの方向付けとして、経営学科では2年次に向けて、どの教員の応用ゼミナールを履修したいか、情報システム学科では3年次に向けて、どのような卒業研究をしたいか、を確認する。「夏期セミナー」のガイダンスも行う。

さらに、将来どのような業種や職種の職業に就きたいか、卒業後どのような人生を描くか、キャリアについて確認する。「キャリア開発」のガイダンスも行う。

さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することも目的とする。

演習は少人数のクラス(1クラス15名程度)で実施する学科別のクラス編成となり、各クラスを教員1名が担当する。学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。

研究内容

目的と下記の項目を実施する。ただし、各クラスで進捗状況により具体的内容や順序が若干異なる場合がある。

文書作成スキル（基本的には両学科共通）5回

- ・ノートの取り方
- ・作文・文章作成、レポートの書き方
- ・アンケートの取り方、データ分析のやり方

大学の中での学びの方向付け（学科に即した内容）4回

- ・自分は何に興味を持っているのか、何を学びたいか
- ・夏期セミナーガイダンス
- ・各学科のカリキュラムについて調べる
- ・経営学科：2年次に向けて、どの教員の応用ゼミナールを履修したいか
- ・情報システム学科：3年次に向けて、どのような卒業研究がしたいか、行きたい研究室はどこか

卒業後のキャリア（学科に即した内容）2回

- ・キャリア開発ガイダンス
- ・将来どのような業種や職種の職業に就きたいか

グループワーク（学科に即した題材を選ぶ）4回

【毎回予習・復習に合わせて4時間】

成績評価

・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、課題レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。

・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。課題レポートについても講評を行なう。

卒業研究活動についての留意事項

両学科とも、今後の卒業研究活動と関連する内容となるので、自分がどのようなことをやりたいかを考えていくこと。

学習到達目標

- ・文書作成スキルを修得する。(35%)
- ・大学の中での学びの方向付けを理解する。(25%)
- ・キャリアについて認識し理解する。(15%)
- ・グループワークを通して問題解決にあたることができる。(25%)

JABEE

関連する学習・教育到達目標：A

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

| 科目コード | ナンバリング | 単位数 | 学期 | 授業区分 | 科目区分 | 履修区分 | 配当学年 |
|--------------|-----------------|-----|----|-----------------------------|------|------|------|
| 410035 | X-31-B-1-410035 | 2 | 後期 | 【1年次生】国際学部国際文化学科 | × | × | × |
| | | | | 【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース | × | × | × |
| 授業科目 | 担当教員 | | | 【2年次生以上】国際学部国際文化学科 | × | × | × |
| | | | | 【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース | × | × | × |
| | | | | 【1年次生】経営情報学部経営学科 | 専門 | 必修 | 1年 |
| | | | | 【1年次生】経営情報学部情報システム学科 | 専門 | 必修 | 1年 |
| 基礎ゼミナール 2 J2 | 河原 和好 | | | 【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース | × | × | × |
| | | | | 【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース | × | × | × |

分野

経営情報学部の学生全員が履修

目的と研究対象分野

本演習は、基礎ゼミナール1に引き続き、適正な学習・生活リズムを獲得することを目的とする。

また、ノートの取り方やレポートの書き方などの文書作成スキルの取得を目的とする。

続いて、大学の中での学びの方向付けとして、経営学科では2年次に向けて、どの教員の応用ゼミナールを履修したいか、情報システム学科では3年次に向けて、どのような卒業研究をしたいか、を確認する。「夏期セミナー」のガイダンスも行う。

さらに、将来どのような業種や職種の職業に就きたいか、卒業後どのような人生を描くか、キャリアについて確認する。「キャリア開発」のガイダンスも行う。

さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することも目的とする。

演習は少人数のクラス(1クラス15名程度)で実施する学科別のクラス編成となり、各クラスを教員1名が担当する。学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。

研究内容

目的と下記の項目を実施する。ただし、各クラスで進捗状況により具体的内容や順序が若干異なる場合がある。

文書作成スキル（基本的には両学科共通）5回

- ・ノートの取り方
- ・作文・文章作成、レポートの書き方
- ・アンケートの取り方、データ分析のやり方

大学の中での学びの方向付け（学科に即した内容）4回

- ・自分は何に興味を持っているのか、何を学びたいか
- ・夏期セミナーガイダンス
- ・各学科のカリキュラムについて調べる
- ・経営学科：2年次に向けて、どの教員の応用ゼミナールを履修したいか
- ・情報システム学科：3年次に向けて、どのような卒業研究がしたいか、行きたい研究室はどこか

卒業後のキャリア（学科に即した内容）2回

- ・キャリア開発ガイダンス
- ・将来どのような業種や職種の職業に就きたいか

グループワーク（学科に即した題材を選ぶ）4回

【毎回予習・復習に合わせて4時間】

成績評価

・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、課題レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。

・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。課題レポートについても講評を行なう。

卒業研究活動についての留意事項

両学科とも、今後の卒業研究活動と関連する内容となるので、自分がどのようなことをやりたいかを考えていくこと。

学習到達目標

- ・文書作成スキルを修得する。(35%)
- ・大学の中での学びの方向付けを理解する。(25%)
- ・キャリアについて認識し理解する。(15%)
- ・グループワークを通して問題解決にあたることができる。(25%)

JABEE

関連する学習・教育到達目標：A

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

| 科目コード | ナンバリング | 単位数 | 学期 | 授業区分 | 科目区分 | 履修区分 | 配当学年 |
|--------------|-----------------|-----|----|-----------------------------|------|------|------|
| 410035 | X-31-B-1-410035 | 2 | 後期 | 【1年次生】国際学部国際文化学科 | × | × | × |
| | | | | 【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース | × | × | × |
| 授業科目 | 担当教員 | | | 【2年次生以上】国際学部国際文化学科 | × | × | × |
| | | | | 【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース | × | × | × |
| | | | | 【1年次生】経営情報学部経営学科 | 専門 | 必修 | 1年 |
| | | | | 【1年次生】経営情報学部情報システム学科 | 専門 | 必修 | 1年 |
| 基礎ゼミナール 2 J3 | 桑原 悟 | | | 【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース | × | × | × |
| | | | | 【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース | × | × | × |

分野

経営情報学部の学生全員が履修

目的と研究対象分野

本演習は、基礎ゼミナール1に引き続き、適正な学習・生活リズムを獲得することを目的とする。

また、ノートの取り方やレポートの書き方などの文書作成スキルの取得を目的とする。

続いて、大学の中での学びの方向付けとして、経営学科では2年次に向けて、どの教員の応用ゼミナールを履修したいか、情報システム学科では3年次に向けて、どのような卒業研究をしたいか、を確認する。「夏期セミナー」のガイダンスも行う。

さらに、将来どのような業種や職種の職業に就きたいか、卒業後どのような人生を描くか、キャリアについて確認する。「キャリア開発」のガイダンスも行う。

さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することも目的とする。

演習は少人数のクラス(1クラス15名程度)で実施する学科別のクラス編成となり、各クラスを教員1名が担当する。学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。

研究内容

目的と下記の項目を実施する。ただし、各クラスで進捗状況により具体的内容や順序が若干異なる場合がある。

文書作成スキル（基本的には両学科共通）5回

- ・ノートの取り方
- ・作文・文章作成、レポートの書き方
- ・アンケートの取り方、データ分析のやり方

大学の中での学びの方向付け（学科に即した内容）4回

- ・自分は何に興味を持っているのか、何を学びたいか
- ・夏期セミナーガイダンス
- ・各学科のカリキュラムについて調べる
- ・経営学科：2年次に向けて、どの教員の応用ゼミナールを履修したいか
- ・情報システム学科：3年次に向けて、どのような卒業研究がしたいか、行きたい研究室はどこか

卒業後のキャリア（学科に即した内容）2回

- ・キャリア開発ガイダンス
- ・将来どのような業種や職種の職業に就きたいか

グループワーク（学科に即した題材を選ぶ）4回

【毎回予習・復習に合わせて4時間】

成績評価

・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、課題レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。

・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。課題レポートについても講評を行なう。

卒業研究活動についての留意事項

両学科とも、今後の卒業研究活動と関連する内容となるので、自分がどのようなことをやりたいかを考えていくこと。

学習到達目標

- ・文書作成スキルを修得する。(35%)
- ・大学の中での学びの方向付けを理解する。(25%)
- ・キャリアについて認識し理解する。(15%)
- ・グループワークを通して問題解決にあたることができる。(25%)

JABEE

関連する学習・教育到達目標：A

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

| 科目コード | ナンバリング | 単位数 | 学期 | 授業区分 | 科目区分 | 履修区分 | 配当学年 |
|--------|-----------------|-----|----|-----------------------------|------|------|------|
| 410035 | X-31-B-1-410035 | 2 | 後期 | 【1年次生】国際学部国際文化学科 | × | × | × |
| | | | | 【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース | × | × | × |
| 授業科目 | 担当教員 | | | 【2年次生以上】国際学部国際文化学科 | × | × | × |
| | | | | 【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース | × | × | × |
| | | | | 【1年次生】経営情報学部経営学科 | 専門 | 必修 | 1年 |
| | | | | 【1年次生】経営情報学部情報システム学科 | 専門 | 必修 | 1年 |
| | | | | 【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース | × | × | × |
| | | | | 【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース | × | × | × |

分野

経営情報学部の学生全員が履修

目的と研究対象分野

本演習は、基礎ゼミナール1に引き続き、適正な学習・生活リズムを獲得することを目的とする。

また、ノートの取り方やレポートの書き方などの文書作成スキルの取得を目的とする。

続いて、大学の中での学びの方向付けとして、経営学科では2年次に向けて、どの教員の応用ゼミナールを履修したいか、情報システム学科では3年次に向けて、どのような卒業研究をしたいか、を確認する。「夏期セミナー」のガイダンスも行う。

さらに、将来どのような業種や職種の職業に就きたいか、卒業後どのような人生を描くか、キャリアについて確認する。「キャリア開発」のガイダンスも行う。

さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することも目的とする。

演習は少人数のクラス(1クラス15名程度)で実施する学科別のクラス編成となり、各クラスを教員1名が担当する。学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。

研究内容

目的と下記の項目を実施する。ただし、各クラスで進捗状況により具体的内容や順序が若干異なる場合がある。

文書作成スキル（基本的には両学科共通）5回

- ・ノートの取り方
- ・作文・文章作成、レポートの書き方
- ・アンケートの取り方、データ分析のやり方

大学の中での学びの方向付け（学科に即した内容）4回

- ・自分は何に興味を持っているのか、何を学びたいか
- ・夏期セミナーガイダンス
- ・各学科のカリキュラムについて調べる
- ・経営学科：2年次に向けて、どの教員の応用ゼミナールを履修したいか
- ・情報システム学科：3年次に向けて、どのような卒業研究がしたいか、行きたい研究室はどこか

卒業後のキャリア（学科に即した内容）2回

- ・キャリア開発ガイダンス
- ・将来どのような業種や職種の職業に就きたいか

グループワーク（学科に即した題材を選ぶ）4回

【毎回予習・復習に合わせて4時間】

成績評価

・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、課題レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。

・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。課題レポートについても講評を行なう。

卒業研究活動についての留意事項

両学科とも、今後の卒業研究活動と関連する内容となるので、自分がどのようなことをやりたいかを考えていくこと。

学習到達目標

- ・文書作成スキルを修得する。(35%)
- ・大学の中での学びの方向付けを理解する。(25%)
- ・キャリアについて認識し理解する。(15%)
- ・グループワークを通して問題解決にあたることができる。(25%)

JABEE

関連する学習・教育到達目標：A

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

| 科目コード | ナンバリング | 単位数 | 学期 | 授業区分 | 科目区分 | 履修区分 | 配当学年 |
|--------|-----------------|-----|----|-----------------------------|------|------|------|
| 410035 | X-31-B-1-410035 | 2 | 後期 | 【1年次生】国際学部国際文化学科 | × | × | × |
| | | | | 【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース | × | × | × |
| 授業科目 | 担当教員 | | | 【2年次生以上】国際学部国際文化学科 | × | × | × |
| | | | | 【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース | × | × | × |
| | | | | 【1年次生】経営情報学部経営学科 | 専門 | 必修 | 1年 |
| | | | | 【1年次生】経営情報学部情報システム学科 | 専門 | 必修 | 1年 |
| | | | | 【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース | × | × | × |
| | | | | 【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース | × | × | × |

分野

経営情報学部の学生全員が履修

目的と研究対象分野

本演習は、基礎ゼミナール1に引き続き、適正な学習・生活リズムを獲得することを目的とする。

また、ノートの取り方やレポートの書き方などの文書作成スキルの取得を目的とする。

続いて、大学の中での学びの方向付けとして、経営学科では2年次に向けて、どの教員の応用ゼミナールを履修したいか、情報システム学科では3年次に向けて、どのような卒業研究をしたいか、を確認する。「夏期セミナー」のガイダンスも行う。

さらに、将来どのような業種や職種の職業に就きたいか、卒業後どのような人生を描くか、キャリアについて確認する。「キャリア開発」のガイダンスも行う。

さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することも目的とする。

演習は少人数のクラス(1クラス15名程度)で実施する学科別のクラス編成となり、各クラスを教員1名が担当する。学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。

研究内容

目的と下記の項目を実施する。ただし、各クラスで進捗状況により具体的内容や順序が若干異なる場合がある。

文書作成スキル（基本的には両学科共通）5回

- ・ノートの取り方
- ・作文・文章作成、レポートの書き方
- ・アンケートの取り方、データ分析のやり方

大学の中での学びの方向付け（学科に即した内容）4回

- ・自分は何に興味を持っているのか、何を学びたいか
- ・夏期セミナーガイダンス
- ・各学科のカリキュラムについて調べる
- ・経営学科：2年次に向けて、どの教員の応用ゼミナールを履修したいか
- ・情報システム学科：3年次に向けて、どのような卒業研究がしたいか、行きたい研究室はどこか

卒業後のキャリア（学科に即した内容）2回

- ・キャリア開発ガイダンス
- ・将来どのような業種や職種の職業に就きたいか

グループワーク（学科に即した題材を選ぶ）4回

【毎回予習・復習に合わせて4時間】

成績評価

・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、課題レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。

・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。課題レポートについても講評を行なう。

卒業研究活動についての留意事項

両学科とも、今後の卒業研究活動と関連する内容となるので、自分がどのようなことをやりたいかを考えていくこと。

学習到達目標

- ・文書作成スキルを修得する。(35%)
- ・大学の中での学びの方向付けを理解する。(25%)
- ・キャリアについて認識し理解する。(15%)
- ・グループワークを通して問題解決にあたることができる。(25%)

JABEE

関連する学習・教育到達目標：A

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習